Wall Art Festival in Niranjana School 2011

"An art festival was held on Bihar, India…!?"

हमारा　त्यौहार！　"HAMARA TYOHAR !"

ウォールアートフェスティバル・イン・ニランジャナスクール２０１１

「われらのフェス！」

～アートのチカラで地元と協働する新しい国際協力～

プレスリリース

Presented by Wall Art Project that is Japanese volunteer unit

http://wafes.net/　　info@wafes.net

２０１０．10．19．

ウォールアートフェスティバル・イン・ニランジャナスクール 2011

開催日
2011 年 2 月 19、20、21 日（土・日・月）

開催場所
ニランジャナスクール（インド　ビハール州　ブッダガヤ　スジャータ村）

参加アーティスト
淺井裕介
遠藤一郎
N. S. HARSHA

特別参加アーティスト
Raj Kumar Paswan
(ミティラー画家・ステートアワード受賞者)

オフィシャルカメラマン
三村健二

オフィシャルインタープリター
杉本昭男

主催
ウォールアートプロジェクト
（おおくにあきこ・浜尾和徳）

ＰＲ担当
日本・おおくにあきこ
akiko@blue-bear.co.jp　mp＋81（0）9023280230
インド・浜尾和徳
hamaokazunori812@gmail.com　mp +919631052271

ニランジャナスクールでのウォールアートフェスティバル（WAF）について

2006 年、日本の大学生 50 人がアルバイト代で、
インド、ビハール州、スジャータ村にあるニランジャナスクールに
校舎を贈ったのが、このストーリーのはじまり。
もともとニランジャナスクールは、教育システムが整わないこの村の
インド人青年によって創設された青空スクールだった。
賛同する地元の教師たちの努力の結果、生徒が年々増え、
現在では幼稚園から 7 年生まで、400 人ほどが通っている。
併設の孤児院においては 22 人が寝泊まりしながら勉強をしている。
学校が建ったために規模は大きくなった。しかし、
世界各地からの寄付を頼りにした運営は常に苦しく、未整備の部分も多い。
そこで日本からの国際協力として、現状を伝え、
改善の方向に向かう方法を模索した結果が、
ニランジャナスクールの白い壁を利用した壁画の芸術祭だった。
白い壁さえあれば、それは叶うはず。
2009 年 9 月、プロジェクトメンバーのひとりが
ボランティアコーディネーターとして現地入り。
周囲のインド人を巻き込みながら、体制づくりをした。
時を同じくして日本では、参加アーティストの交渉、助成と企業のサポートをとりつけた。
日本からのボランティアスタッフ約 20 人、インド人スタッフ約 30 人。
2010 年 2 月 20、21、22 日の 3 日間の芸術祭に、約 4000 人もの人々が来場した。
翌年の開催が待たれる結果となった。

ウォールアートフェスティバル（WAF）の 3 つの目的

① インド、ビハールの子どもたちに、アートの力を伝えたい。

② フェスティバルを見学に来てくれる人、取材に来てくれたメディアを通じて、
世界中の人たちに、ビハールの子どもたち、村人たち、ひとりひとりが、
この地でこんなふうに生きていることに思いを馳せてほしい。

③ 芸術祭を通じて村が注目され、活性化することで、
教育システムやインフラの整備につなげていきたい。

第１回「ウォールアートフェスティバル・イン・ニランジャナスクール 2010」について

招いたのは、日本のアーティスト淺井裕介とインド人アーティスト、スリージャタ・ロイ。
淺井裕介はインドスジャータ村で採取した 7 種類の土と水だけで作品を完成させた。
制作の傍らワークショップを行い、子どもたちも手形で制作に参加した。
スリージャタ・ロイは、インドの農村の力強さをアクリル絵の具で表現した。
会場で実施したアンケート結果は「大変良かった」472 票、
「良かった」28 票、「良くなかった」0 票。
インドの新聞 4 紙が取り上げ、テレビ 3 局で放送された。
日本のメディアは朝日新聞、東京新聞、読売新聞。
現地の人たちは自分たちが慣れ親しんだ土の新しい価値を発見した。
学校の子どもの中から将来画家になりたいという声がきこえた。
アートの力を活かした国際協力について知らせるため、日本では 11 か所で報告会を開催。
メイキングの冊子と映像を作り種まきを始めている。
壁画は 7 月半ばに子どもたちとともに消し、新たなスタートに向かった。

淺井裕介［泥絵“誓いの森”］
縦 6.3m×横 4.15m×高さ 3.1m の教室の壁全面

Sreejata Roy [Untitled]

縦 6.3m×横 4.15m×高さ 3.1m の教室の壁 3 面

第２回は 2010 同様、日本とインドからアーティストが参加。

2011 年の参加アーティスト

淺井裕介

第１回で現地の土を使った壁画を、天井まで含めた全面に描いて話題を集めた彼が再び参加を決定している。

[主な個展]　2010「ショッピング」三菱アルティアム、福岡　2009「ぐらぐらの岩」、graf media gm、大阪

[主なグループ展、プロジェクトなど]　2010「Small Paintings」、ARATANIURANO、

東京「New World」、アイランド、千葉　「ウォールアート・フェスティバル」ブッダガヤ、インド

2009　「ジカン ノ ハナ展 －Time Blossoms」　横浜市黄金町黄金町スタジオ A,B、横浜

「長者町プロジェクト 2009」長者町繊維卸会館および周辺空店舗、空ビル、壁面等、愛知

「アジア現代美術プロジェクト- City_net Asia 2009」ソウル市立美術館、韓国

「福岡アジア美術トリエンナーレ 2009　共再生–明日をつくるために」、福岡アジア美術館、福岡

「まいにち、アート！！」、群馬県立近代美術館、群馬

2008「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia アジアへ発信！日本の現代美術」、ジョグジャ ナショナル

ミュージアム、インドネシア

[受賞歴] VOCA2009 展 大原美術館賞

http://www.arataniurano.com/artists/asai_yusuke/

遠藤一郎

未来美術家。愛車「未来へ」号を住まいとし、日本全国を巡っている。現代美術手帳にて「愛と平和と未来のために」連載。

[主なエキシビション]

2010　「上海万博公園彫刻プロジェクト」除幕イベント　『凧あげプロジェクト「未来龍大空凧」』上海師範大学

『アートフェア東京 2010』　東京フォーラム　「わくわく混浴別府タワー」　企画・運営・参加

『NEW WORLD』展　island にて、「Beuys in Japan：ボイスがいた 8 日間」関連イベント　遠藤一郎 46 日間ほふく前進　「愛と平和と未来のために」　水戸芸術館にて

2009「Twist and Shout－Contemporary Art from Japan」タイ、甑島アートプロジェクト　参加

遠藤一郎個展　「Super Canvas」　清澄白河ＦＡＲＭにて開催

http://www.goforfuture.com/

N.S.HARSHA（N.S.ハルシャ）

故郷である南インド、マイソールを拠点に、広く世界で活動。

2008 年、日本のメゾン・エルメスで開催された個展「レフトオーバーズ」は記憶に新しい。インドの伝統的な細密画を下敷きにしたドローイング、コミュニティをベースにしたアート作品や、各地の子どもたちと作り上げる大規模なインスタレーションなど、多彩な活動が注目されている。

[主なエキシビション]

2009「sharjah ビエンナーレ」アラブ首長国連合

2008「第３回アルテス・ムンディ」カーディフ国立博物館、英国　「チャロー！　インディア」森美術館

個展「レフトオーバーズ」メゾン・エルメス東京、大阪

2002「第２回福岡アジア美術トリエンナーレ」福岡アジア美術館

[受賞歴]第３回アルテス・ムンディ大賞

http://www.victoria-miro.com/exhibitions/_401/

特別参加（インド伝統のミティラー画家）
Raj Kumar Paswan(ラジ・クマル・パスワン)

ビハール州・マドゥバニ在住のミティラー画家。

代々受け継がれた技法を用い、25 年に渡って制作活動を続けている。

[主なエキシビション]

2007「ウッダーン・パブリック」ハウズカース、ニューデリー、インド

2006「ダスカリ・ハスト・サミティ」バンガロール、カルナータカ州、インド

2005「クラフトバザール」ブブネッスワール、オリッサ州、インド

2003「ハイデラバード・ハット」ハイデラバード、アーンドラプラデーシュ州、インド

2003「クラフトバザール」コルカタ、西ベンガル州、インド

[受賞歴]　ステイトアワード

ウォールアートフェスティバルまでのスケジュール

12 月 6 日（月）　「今度のフェスに何やろう!?
WAF@india2011 参加アーティスト淺井裕介・遠藤一郎クロストークと写真展」
場所　明治学院大学横浜キャンパスと善了寺（カフェ・デラ・テラ）
http://www.meijigakuin.ac.jp/campus/yokohama/
http://www.zenryouji.jp/

12 月 7 日（火）～12 日（日）　「ウォールアートエェスティバル　イン　トーキョー」
～WAF2011 キックオフイベント＆上映会と写真展～
場所　仙川「niwa-coya」にて　http://www.niwa-coya.com/
※12 日（日）には淺井裕介と遠藤一郎によるワークショップ開催予定

●取材などの問い合わせ先

info@wafes.net

０９０－２３２８－０２３０　おおくにあきこ